

事後評価シート

調査研究課題名	集約的都市居住における地域防災力の強化に関する研究
担 当 者	主任研究官 尾藤文人、研究官 阪井暖子、田中文夫、梶原ちえみ 前主任研究官 宮川仁、前研究官 中島裕之
① 当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、集約的都市居住が行われている地域において、災害時におけるマンションと地域との連携、共助のあり方とそれが機能するための課題を抽出し、特にハード面での具体的な共助の方策を提示することを目標とした。</p> <p>調査研究の成果として、マンションと地域の連携、共助に関する問題点を整理し、地域防災力の強化に向けた課題を抽出し、建物施設・設備の整備方策について「地域特性」「建物状態」「タイムライン」「関係主体」に応じたあり方を提示することで、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査研究では、マンション管理組合や町会、マンション管理会社にアンケート調査やヒアリングを実施し、加えて、ディベロッパー、行政等へのヒアリングや事例調査を実施し、地域防災力強化のあり方・方策の検討を行った。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進める過程で有識者ヒアリングを実施し、調査研究の進め方、調査内容の妥当性やまとめ方についてご助言をいただいた。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果を当研究所のホームページで広く公表することを予定している。</p> <p>本調査研究の成果は、政策部局が集約的都市居住における地域防災力の強化に向けた施策を検討するにあたって、施策の策定や、施策の効率的・効果的な実施に当たって有効な方策を提供し得るものである。</p>
⑤ その他	<p>調査研究内容を PRI Review 46号、48、51号に掲載するとともに、成果の一部について当研究所が主催した平成 24 年度研究発表会等で報告し、さらに日本マンション学会の大会において発表を行っている。</p> <p>また、業界紙、専門雑誌等に成果の一部が掲載されている。</p>